

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 2019（平成31）年度～2023年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 経済部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	予算額				
	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1) 健康増進活動の推進	20,410 千円				
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	144,703 千円				
計	165,113 千円				

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標（1） 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合（単位：％）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目 標
86.6						90.0

◆数値目標（2） 過去1年間に健康診査を受けた市民割合（単位：％）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目 標
66.7						70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合（高齢期）（単位：％）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目 標
48.8						55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合（健康に関する情報）（単位：％）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目 標
45.4						50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目標
9,927						10,000

<平成31年度の方針>

健康増進活動の推進に当たっては、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けるとともに、地域とのつながりを大切に、健康づくりの輪を広げていくことが重要となります。
 こうしたことから、平成31（2019）年度は、「えべつ市民健康づくりプラン21（第2次）後期行動計画」に基づき、小中学校における喫煙予防教室や生活習慣病予防教室の開催と、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり活動を推進するほか、健康経営の認知度向上等を図るため、セミナー実施などの普及啓発活動を推進していきます。

<課題>

- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 健康経営の認知度向上と具体的な取組内容の周知

<取組の概要>

- ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・健康経営に関するセミナーなど普及啓発活動の推進

事務事業	成果指標	H31年度	2020年度	2021年度	備考
健康づくり推進事業	参加者数	6,430 人	人	人	左記事業費は、健康相談経費2,110千円を含む
	補助事業参加者数	1,000 人	人	人	
	事業費	7,563 千円	千円	千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	4,591 人	人	人	
	事業費	1,210 千円	千円	千円	
総合特区推進事業	健康企業・健康事業所宣言等の認定数	30 社	社	社	
	事業費	13,747 千円	千円	千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	H31年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	目標
39.8						45.0

<平成31年度の方針>

疾病予防・重症化予防の促進に当たっては、みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめるとともに、バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ることが重要となります。
 こうしたことから、平成31（2019）年度は、「生活習慣病予防に向けた野菜摂取アクションプラン」に基づき、野菜摂取に関する市民意識の向上等を図るとともに、国保被保険者の健康増進と医療費の適正化が図られるよう、第2期データヘルス計画に基づいた「特定健康診査・特定保健指導」の実施のほか、「高齢者総合計画」に基づく通いの場の創設支援などにより、疾病の早期発見や重症化の予防等に努めます。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入により、受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防のため、野菜をおいしく・多く食べてもらうための意識啓発活動の展開
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施

事務事業	成果指標	H31年度	2020年度	2021年度	備考
健康都市推進事業	健康のために心がけていることがある市民割合	87.0 %	%	%	
	事業費	3,336 千円	千円	千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	14.5 %	%	%	
	事業費	74,626 千円	千円	千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	28.0 %	%	%	
	特定保健指導利用率	38.8 %	%	%	
	事業費	61,420 千円	千円	千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	1,336 人	人	人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	320 人	人	人	
	事業費	5,321 千円	千円	千円	